

調査研究事業

平成27・28年度 調査研究事業 『オリンピック・パラリンピック教育（オリ・パラ教育）of福岡』

「オリンピック・パラリンピック教育」（以下「オリ・パラ教育」と言います。）とは、「オリ・パラ」を題材として扱うことで、子どもたちに生涯を通じてこれからの新しい時代を生き抜くために必要となる『生きる力』を育むことができる、価値ある教育だといわれています。更に、「オリ・パラ教育」は東京大会のための教育ではなく、この大会をきっかけにして継続的に続けていくものであり、現在、全国展開も進められています。今回の調査研究事業「オリンピック・パラリンピック教育of福岡」では、国や他の都道府県の動向を調査し、協力校に実践いただきましたことをもとに明らかになった「オリ・パラ教育の価値」や「オリ・パラ教育に取り組む際のポイント」等を分析・整理し、まとめてまいりました。そこで、「オリ・パラ教育」の取組を始める際の手がかりとして5つのテーマを設定し、そのテーマごとの実践事例とポイントを提案しております。



左のように、内容が一目で分かるように1頁に1実践事例を紹介しています。
 ・写真などを活用して、取り組む際の実践内容が伝わるように構成しています。
 ・取り組む際の参考となるように、取り組みたい「5つのテーマから」と「教科領域等から」の両方から実践事例を探そうとしています。
 ・小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の各校種の実践事例を掲載しています。

この「オリ・パラ教育of福岡」の報告内容は、本所ホームページで御覧いただけます。今後、この報告が、福岡県の各学校の「オリ・パラ教育」の充実に生かされることと、各学校における実践の参考となりますことを期待しています。

学校への支援活動

- 体育研究所では、学校を支援するために次のような活動を行っています。お気軽に御相談ください。
- 研修(校内・校外)会等への指導主事の派遣及び講師の紹介
 - 体育コース等設置校(連絡協議会、トレーニング実習等)への支援
 - 体育・スポーツに関する資料、視聴覚教材の収集及び貸出
 - 来所、電話等による相談への対応
 - カリキュラム(教科等)作成に関する支援
 - サークル活動への支援
- 平成28年度支援回数132回 (H29・2月現在)

ホームページの紹介

ホームページでは、主な事業内容を中心に情報を掲載しています。ぜひ御覧ください。

〈調査研究事業〉
過去の調査研究をまとめた研究報告書をダウンロードできます。

〈研修事業〉
専門研修講座、基本研修、長期研修等の内容を紹介しています。

福岡県体育研究所

※スマートフォン・タブレット端末では御覧になれません。

平成28年度

体育研究所だより

第78号

福岡県体育研究所
 〒812-0852
 福岡市博多区東平尾公園
 2丁目1-4
 電話 (092) 611-0220
 FAX (092) 611-1747
 E-mail: taiikukenyusho@pref.fukuoka.lg.jp

～ 所長挨拶 ～

本県の子どもの体力は改善傾向にあり、平成28年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」では、全国平均値を、昨年度に続き小学校男子が、調査開始以来初めて中学校男子も上回りました。また、小・中学校女子においても、全国平均値との差が調査開始以来最小値となるなど大きな伸びがみられました。この結果には、体育科・保健体育科の授業に加え、運動の日常化を図る教育活動の展開が継続して行われていることが寄与していると思われまます。

昨年の夏は、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックにおいて、福岡県出身選手の活躍で大いに盛り上がりました。次の2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を契機に、子どもたちがスポーツの価値を学び、生涯にわたってスポーツに積極的に参画することが期待されています。そのためには、本県の体育・スポーツのより一層の充実・発展を目指していかなければなりません。子どもたちが、運動・スポーツに対する「する・みる・支える・知る」といった多様な関わり方に触れることのできる教育活動を充実させていくことが重要となります。

このような視座に立ち昨年度より進めてまいりました、本所の調査研究事業「オリンピック・パラリンピック教育 of 福岡」の成果につきましては、ホームページにて報告させていただきました。各学校において御活用いただけることを願っております。

また、本所では、学習指導要領改訂に伴う国の動向を見据えた体育・健康教育の充実のため、指導者育成の教職員研修、学校支援等の事業の推進に努めてまいります。

今後も国や県の動向を見据えた最新情報の発信に努めるとともに、本県の体育・スポーツ、健康教育の充実に寄与できるよう、所員一同、一層努力してまいりますので、関係各位の御支援・御協力をお願いいたします。

福岡県体育研究所 所長 幸慎二

短期研修講座

楽しい雰囲気の中で一緒に学びましょう!



研修講座の様子 (平成28年度)

講師紹介



経験豊富な講師がわかりやすく教えてください。「指導方法がよくわからない」「自信がない」と思われる先生方、お気軽に御参加ください。

☆ 次頁に29年度の詳しい案内を掲載しています。御覧いただき、是非お申込ください。

平成29年度専門研修（短期研修）講座のご案内

平成29年度は、体育・スポーツ、健康教育等の専門的知識や技能の習得を図ることを目的とした21の専門研修（短期研修）講座を設定しました。また、2日間の講座をなくし、全ての講座を1日講座とするとともに、前年度受講希望が多く選考を行った「体育の授業づくり」講座については、同講座を2回実施するようにしました。どの講座においても全国的に著名な講師をお招きし、学習指導要領や現代的な教育課題に対応した実践に役立つ内容を準備しています。詳しくは、県教育センターからの募集案内又は体育研究所ホームページを御覧ください。多くの方の御参加をお待ちしています。

対象	講座名	期 日	講 師
幼小	運動遊び	8月 2日(水)	岐 阜 大 学 教 授 春日 晃章
小 特	体づくり運動	8月 3日(木)	国 士 館 大 学 教 授 細越 淳二
	体育の授業づくり ※同一内容で2回実施	8月 8日(火) 8月 9日(水)	日 本 体 育 大 学 教 授 白旗 和也
	ゲーム・ボール運動（ゴール型）	8月22日(火)	早 稲 田 大 学 准 教 授 吉永 武史
	ゲーム・ボール運動（ネット型+ベースボール型）	8月23日(水)	早 稲 田 大 学 准 教 授 吉永 武史
	表現リズム遊び・表現運動（中・高可）	6月27日(火)	筑 波 大 学 准 教 授 寺山 由美
	小中 特	浮く・泳ぐ運動、水泳（高可）	6月15日(木)
中高 特	体育の教材づくり（高可）	9月28日(木)	香 川 大 学 准 教 授 米村 耕平
	体づくり運動	10月11日(水)	日 本 体 育 大 学 教 授 近藤 智靖
	球技（ゴール型）	7月25日(火)	群 馬 大 学 准 教 授 鬼澤 陽子
小 中 高 特	体育理論	7月 4日(火)	筑 波 大 学 教 授 菊 幸一
	体育的学力を育む授業づくり	7月31日(月)	愛 媛 大 学 准 教 授 日野 克博
	特別支援ニーズのある子どもから見た体育授業の進め方	8月 4日(金)	筑 波 大 学 准 教 授 澤江 幸則
	体力向上の方策	7月28日(金)	岩 手 大 学 准 教 授 清水 将
	保健の学習指導	8月 8日(火)	聖 心 女 子 大 学 教 授 植田 誠治
	健康教育	10月12日(木)	茨 城 大 学 准 教 授 上地 勝
	体育のアクティブ・ラーニング（授業づくり編）	10月 4日(水)	桐 蔭 横 浜 大 学 教 授 佐藤 豊
	体育のアクティブ・ラーニング（推進編）	10月 5日(木)	桐 蔭 横 浜 大 学 教 授 佐藤 豊
養	養護教諭の資質向上	8月 2日(水)	国 際 医 療 福 祉 大 学 教 授 荒木田美香子
教職員 一般	スポーツや健康に関する心理学	10月25日(水)	福 岡 大 学 教 授 下園 博信

専門研修（断続研修）講座

■保健体育研修講座（12日間）

著名な外部講師による講義・演習や3回の授業研修、小・中・高・特別支援学校の異校種での系統性を考えた授業づくりを学び、個人の研究が深まりました。

福津市立神興東小学校	浅井 優平	飯塚市立鎮西中学校	石川 亜沙美
飯塚市立上穂波小学校	武末 真輔	福岡県立宗像高等学校	野村 武利
大牟田市立明治小学校	大野 義仁	福岡県立筑紫高等学校	鳥添 未奈美
筑後市立羽犬塚小学校	平井 陽伸	福岡県立三潁高等学校	富松 和彦
柳川市立矢ヶ部小学校	古賀 智治	福岡県立小郡特別支援学校	西村 典子
大川市立大川小学校	堤 陽平		



■養護教諭研修講座（12日間）

多様化・深刻化している児童生徒の健康課題解決に向けて、組織的な学校保健活動を展開するための方策を実践的に学びました。また課題研究にも取り組み、実践を深める機会となりました。

春日市立春日北小学校	白谷 忍	添田町立落合小学校	山岡 稚菜
菊田町立片島小学校	林 満貴子	大野城市立大和利中学校	阿志賀 優子
小郡市立立石中学校	和田 希	福岡県立香住丘高等学校	俵 麻美



長期派遣研修

平成28年度の長期派遣研修は、小学校においては、昨年度長期派遣研修員の「子どもの体力向上を図る組織的な取組に関する一考察」を受け、体力向上の取組を実行していく小学校組織の在り方に関する研究に取り組みました。

中学校においては、新しい学習指導要領の目指す、「育成すべき資質・能力の3つの柱」の1つ、「学びに向かう力」について研究を進めてきました。生徒たちが生涯にわたって運動を続けていこうとする態度を育てることができるよう、2つの領域で研究を行いました。

高等学校においては、生徒が生涯を通じて自己と社会の健康・安全を保持増進していくために必要な実践力の育成を目指し、科目保健でケーススタディーを位置付けた授業づくりに取り組みました。

研究の成果については、2月17日（金）に行われた「福岡県体育・スポーツ研修報告会」で報告しました。

■ 小学校

小学校における子どもの体力向上を図る組織の在り方に関する一考察
～体育向上プロジェクトチームによるミドル・アップダウン・マネジメントを通して～
うきは市立御幸小学校 教諭 長尾 剛

■ 中学校

保健体育科における学びに向かう力を育てる学習指導の研究
～「学びの軌跡シート」を活用した3つの分析活動を通して～
宗像市立城山中学校 教諭 吉廣 精人

■ 高等学校

健康・安全に関する実践力を育てる保健学習指導
～ケーススタディーを位置付けた授業づくりを通して～
福岡県立筑紫中央高等学校 教諭 水島 豊

研究を進めていく中で、1つ1つの言葉の意味を調べ、深く考えることが多くありました。絞り出すようにして文を書き進めました。研究が行き詰まり悩んだ時、長期研修員3人で立ち返り、議論したことは「どんな子どもに育てたいのか」「どんな姿を目指しているのか」「子どものために何をしたいのか」ということです。

この1年間、多くの方々から温かい励ましや御指導を受け、充実した研修の日々を送ることができ、研究報告書に書き表すことのできない財産をたくさんいただきました。

今後も、研究と修養を積み重ねていきたいと考えています。このような研修の機会を与えてくださり、支えてくださった全ての方々に心から感謝いたします。

平成28年度長期派遣研修員一同

基本研修

小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教諭、養護教諭を対象に、職能・経験年数に応じて必要不可欠な専門的知識や技能の習得、教員としての資質向上を図るため、基本研修を実施しました。

理論と実践的指導力のバランスがとれるよう、講義だけでなく、演習・協議・実技等の参加体験型研修を多く取り入れました。

<小・特別支援学校>

初任者研修	(2日)
10年経験者研修	(1日)

<高等学校>

初任者研修	(10日)
2年経過研修	(1日)
5年経過研修	(2日)
10年経験者研修	(3日)



<中・特別支援学校>

初任者研修	(2日)
10年経験者研修	(3日)

<養護教諭>

初任者研修	(7日)
2年経過研修	(1日)
5年経過研修	(5日)
10年経験者研修	(3日)